

2009 年 10 月 30 日

秋芳鉱山の第3鉱画設備工事の竣工について

住友大阪セメント株式会社(東京都千代田区、社長:渡邊 穰)は、石灰石資源の供給体制を長期的に確保するため、当社の主力石灰石鉱山である秋芳鉱山(山口県美祢市)の第3鉱画開発工事を進めてまいりましたが、このたび設備工事が完了し、9月より出鉱を開始いたしました。

第3鉱画設備は、直径 5m、長さ 200mの立坑2本と、立坑毎に時産能力 1200 トンの一次破碎機および輸送用ベルトコンベアで構成され、既存の第2鉱画二次破碎設備につながっています。

当設備の完成で、約 40 年にわたる鉱量 3 億トンの石灰石を確保することができ、お客様に長期にわたって石灰石を安定供給することが可能になりました。

2024 年頃までは、現在の第 2 鉱画との並行出鉱を行い、その後、第 3 鉱画からの単独出鉱となる予定です。そして、第 3 鉱画の剥土を使って、既に採掘を終了している第1鉱画を埋め戻した後、植樹等を行い、開発と緑化を両面で進めながら環境に配慮した鉱山を目指します。

秋芳鉱山 第3鉱画の概要

面 積 80 万m²

投資総額 80 億円(今後継続する剥土工事分を含む)

設備概要 立坑

セメント系・鉄鋼化学系各1本

一次破碎機

ジャイレートリクラッシャー(アーステクニカ社製 42-65 形式) 各立坑底に 1 基

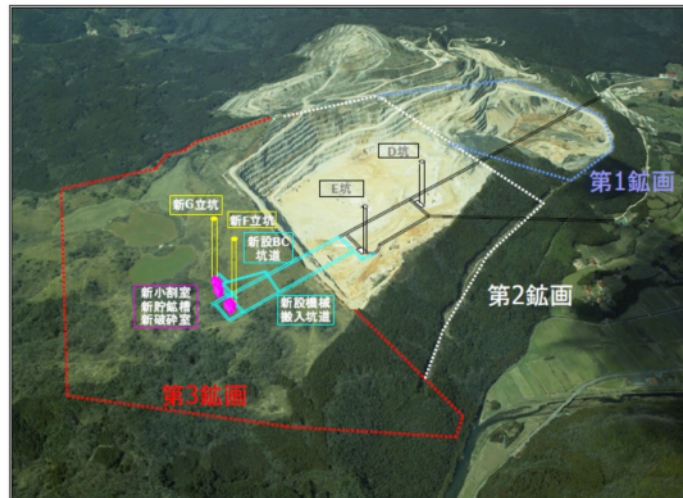
主要輸送ベルトコンベア

セメント系:約 900m、鉄鋼化学系:約 500m 各延伸工実施

【本件に関する問合せ】

住友大阪セメント株式会社 総務部 IR 広報グループ

TEL 03-5211-4505 FAX 03-3221-4651



秋芳鉱山第3鉱画設備配置図



立坑底引出部（シェル室・小割室）



一次破砕引出ベルトコンベア